

国際交通安全学会 創立四十周年にあたって



(公財)国際交通安全学会会長
小口泰平

国際交通安全学会は2014年9月に四十周年を迎えます。74年に、交通とその安全に真正面に取り組むことを目的に、各領域の研究者や関係者が自由に討議し有効な解決手段を創出する場として設立されました。以来、40年にわたり学際的研究を柱に、国内外の知見を集め、研究調査をはじめとする各種活動をもとに、国の政策への提言、交通分野における国際協力などの成果を発信してまいりました。

今日、「交通事故死者」は世界全体で120万人以上といわれており、今後さらに発展途上国を中心に増加が危惧されています。また、「交通」は世界の石油の約60%を消費しており、CO₂排出など地球環境の持続可能性に大きくかかわっています。こうした交通問題の地球的拡大の状況下で、次の時代の交通社会にとって先進的かつ国際的な課題に取り組み、そして新たなモビリティ文化の構築が期待されています。

国際交通安全学会は、さる2012年秋に「IATSSビジョン」を世界に向けて発信し、「学際的・国際的活動を、よりいっそう強力で推進する」ことを誓いました。今まさに、会員の力を結集し、関係各位の皆様のご支援をいただきながら、そして内外の研究者・研究機関とも連携し、今後さらに継続的に学際的・国際的事業活動を進化させてまいりたいと存じます。

関係各位の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

